



ロータリー：
変化をもたらす

越谷南ロータリークラブ

会 報

第2147回
2018.5.10

赤松会長テーマ：ひかり射し込む 会運営 みんなと共に

【点鐘】

【ロータリーソング斉唱】

【誕生月・記念月のお祝い】



【ロータリーの目的唱和】 【四つのテスト唱和】



【ゲストビジター紹介】

越谷南高校 高取淳子先生
IAC 高校生海外研修派遣団員 武内 琳太郎 様
篠原 璃那 様
青少年交換来日学生 アントニオ君

【会長あいさつ】

赤松会長



ゴールデンウィークもあつと言う間に終わってしまいましたが、みなさんは如何お過ごしでしたか。年を重ねて来ると連続休暇など必要ないと感じる今日この頃です。

今日は、税務用語の一つを紹介致します。用語の一つに、生計を一にする言う言葉があります。税法上至るところに生計を一にする言葉に出合います。

この言葉は、例えば家族を扶養している場合の配偶者控除、扶養控除等これらの控除を受ける場合、この言葉からは同じ屋根の下で生活を共にする人をイメージしますが、生計を一にするとは、ともに生活をしていなくても、継続して資金を援助している場合、遠く離れた両親に生活費の送金をしている場合などは、生計を一にするとしていると理解します。更にいえば、親族間で誰かが誰かを扶養しているとの考えは共に同じ屋根の下で寝起きをすることではなく、親族間で常に生活費や学資金を送金していれば生計を一にしていると認められ、税法は各種控除を受けられます。

【幹事報告】

石川幹事



- ① 5月、6月のプログラムについて 承認されました。
- ② 親睦ゴルフ・夜間例会(古希祝い)の決算報告 承認されました。
- ③ 親睦旅行予算案について 保留されました。再度提出して持ち回り理事会とする。
- ④ ゴミ0について ご案内を会員に送信します。
- ⑤ その他
 - ・クールビズについて 5月～10月実施
 - ・会費未納会員について。(代表者が話しに行く)
 - ・会費軽減の為、例会場を変えるのも良いのではないかと。
 - ・会長賞もう少し、財団寄付 25ドル以上4人

【ロータリーの友紹介】



【委員会報告】

- ・次年度増強委員会・・・例会終了後、委員会を開催します。
- ・次年度青少年奉仕委員会・・・明日の夜、財団と米山合同で委員会を開催します。
- ・次年度幹事・・・次年度の年度計画書を作る時期になりました。昨年の年度計画書の名簿の部分のコピーを回していますので修正、加筆、削除等あればその旨明記してください。
- ・親睦委員会・・・親睦旅行へぜひご参加ください。

- ・社会奉仕委員会・・・ごみゼロを5/27に蒲生駅東口とレイクタウン駅周辺で行います。
- ・米山記念奨学会・・・残り26万円、ご協力お願い致します。
- ・吉田PG・・・会長賞をとるため財団寄付のご協力をお願い致します。

【お客様挨拶】

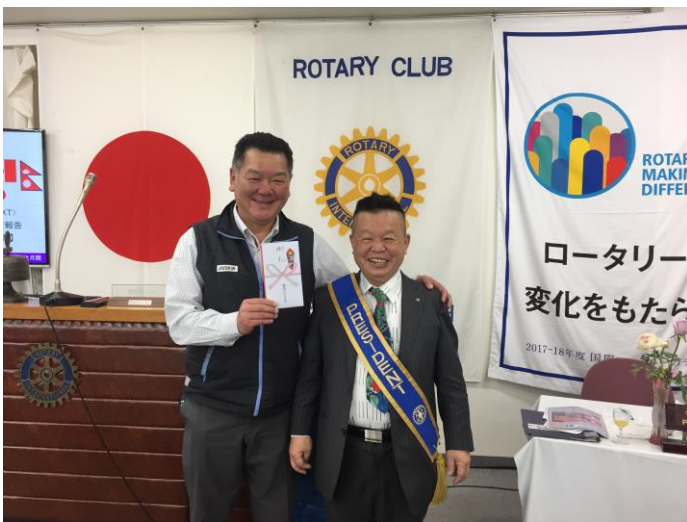
- ・韓国訪問報告



・アントニオ君の報告



【家庭集会報告】



第1班

ホストファミリーを受けられない理由で、子供が小さくてまだ手がかかる、介護をしている、部屋が無い、独身であるなどがあった。

学生交換はとても良いことではあるが諸事情から協力できないのは申し訳ないと思っていますとも言われました。

一昨年、昨年とあすかった経験ではあるが、家の雰囲気がとても良くなった。子供たちも大きくなるとあまり話をしなくなる、が1人の留学生のおかげで家族に会話が増え、家族の絆が一段と深まった気がします。

また、留学生に触発され自分達も留学を意識するようになり、次女が派遣候補生に申し込み、派遣候補生になることができた。

長男、長女も来年それぞれ留学する事になっている。もとはロータリアンの子息の交流目的で始まったプログラムなので、会員のご子息の為にまず、留学生を預っていただきたいです。

次年度は週末ホストファミリーのような、短期のお試しをし

いただき、それでも1週間、1ヶ月と預れると思うようであれば長期に移行していただくプランを用意していきたい。

ご理解、ご協力よろしく申し上げます



2班

第2班の報告を致します。

班長が中島さんで、出席者は石川幹事、神谷さん、岡田さん、岩淵さん、斎藤寿一さん、小林光蔵さん、加藤さん、中内さん、中村さん、荒井の計11名でした。

A会員

- ・学生は日本文化を体験する目的で来るので、受入れ側はあまり気遣いしない方が良いと思う。
- ・双方の学生とも世界の見聞を広めることができるので、交換事業は意義ある事業だと思う。

B会員

- ・過去に学生を預かった経験があるが、自分の子供が留学するきっかけになって、良かった。
- ・交換事業は、素晴らしい事業だと思う。

C会員

- ・学生を受け入れて良い経験ができた。
- ・短期(週末等)の受入れも良いきっかけになると思う。

D会員

- ・受入れ側は構えないで、学生の自主性に任せる方が良い。
- ・5年前に受け入れた学生から未だに手紙の交流があって、嬉しい。
- ・ある家族が2ヶ月受入れるなら、週末は他の会員の協力を得ることが良い。

E会員

- ・送り出しについては、世界を知る良い経験となるので、素晴らしい事業だと思う。

F会員

- ・素晴らしい事業なので、継続して欲しい。

G会員

- ・交換事業は、素晴らしい事業だと思う。
 - ・受入れホストファミリーが課題である。
- 受入れ経験者が未経験者に対して、受け入れて良かった点を伝えていくことが必要である。

H会員

- ・ホストファミリーの経験からすると、同世代の子供がいるとより良い環境になると思う。

I会員

- ・ホームステイ先の負担を考えると、他の会員の協力が必要だと思う。
- 例えば、短期間のホームステイ・一緒に食する等。
- ### K会員
- ・相対的に考えれば、交換事業は継続した方が良いと思う。
- なぜなら、受入れ学生もホストファミリーの方々にとっても世界に目が向けられるから。

<まとめ>

- ・交換事業については好意的な意見が殆どでした。
- ・課題は、受入れホストファミリーです。

数か月の受入れホストファミリーだけに頼るのではなく、短期間(週末等)のホストファミリーを出来るだけ多くの会員が協力することが必要です。



3班

参加者は、瀬尾会員、岡田会員、飯泉会員、小林光蔵会員、小林武弘会員、小林秀次会員、石川会員、木村会員、水町です。ホームステイ先の確保がネックになる。三ヶ月ずつだったとしても四家族必要になるので、十家族くらいが対応してくれるとやりやすい。まずは受け入れ体制を整えることを先行すべき。やりたくてもできない家庭も多い。

受け入れてくれた家庭の子供が興味を持ってきていることは素晴らしいこと。
 ホストファミリーをやりたい！という雰囲気を作れないものか。
 「たまにはウチで食事だけでもどう」みたいな感覚があってもいいのでは。
 もともとはロータリアンの子弟のための事業であるものなのに高校からの推薦をとっていることでややこしくなっている部分もある。
 高校側との連携をもっと緊密にするほうがいいのでは。
 ホストファミリーの件に関しては第8グループ全体での協力体制を築けないか。
 そもそも自クラブのメンバーへの周知が足りていないのでは。
 クラブ会員全員で関わる方法はないだろうか。

TEL 048-987-5761
 FAX 048-987-5762
 E-mail info@koshigayasouth-rc.jp



【スマイル報告】

お陰様で
 スマイル 31件 84,000円
 累計 1,597,352円
 ありがとうございます。

【出席報告】

例会日	平成30年 5月 10日		
会員数	51名	出席	34名
出席免除者	6名	欠席	17名
出席率	68.0%	前々回MU	7名
MU修正率	73.4%	会報担当：中村	

————— クラブプロフィール —————

【姉妹クラブ】 国際ロータリー第3460地区
 台中南区扶輪社（中華民国台中市）
 【友好クラブ】 国際ロータリー第2520地区
 宮古東ロータリークラブ
 【例会日】 毎週木曜日（PMO：30～1：30）
 【例会場・事務局】 〒343-0842
 越谷市蒲生旭町 10-14 中野ビル2階